科目番号	53204	分類	専門科目 看護教育科学領域	履修者	看護科学コース （看護教育・研究者プログラム）	学年
科目名	看護教育学演習Ⅱ （ Seminar in Science of Nursing Education Ⅱ ）					1 配当セメスター 通年

担当者	○上國料　美香	区分	選択	単位	2	時間数	60

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概要】 科学的根拠に基づく教育（EBE）を展開するために不可欠なカリキュラムの編成・運用に関する基礎知識の修得を目ざす。また、統合カリキュラムを編成する能力の修得を目ざす。具体的には、「看護教育学演習Ⅰ」を前提とし、仮説の看護基礎教育課程のカリキュラムを立案するとともに、看護基礎・継続教育に携わる看護職者がカリキュラム編成・運用に関する基礎的知識を修得する意義を考察する。 【目標】 1. 看護教育学演習Ⅰの学習成果を前提とし、仮説の看護基礎教育課程の統合カリキュラム（形成段階、機能段階）を立案する。 2. 所属施設のカリキュラム編成を分析し、特徴と課題を見いだす。 3. 立案した仮説看護基礎教育課程のシラバス１科目を作成する。 4. 看護職者が、カリキュラム編成のおよび運用に関する基礎的知識を修得する意義を多角的に説明する。		1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力
		2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
	○	3. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担うことができる能力
	○	4. 実践を行いながら学部学生の臨地実習指導、新人看護師等の現任教育、生涯教育・卒後教育への支援や指導ができる能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第１回 第２～５回 第８～11 回 第 12～17 回 第 18～30 回	ガイダンス 授業の目的、目標、授業展開の理解 統合カリキュラム編成の実際（形成段階） 学科目標の設定、 内容配置図の作成 所属施設のカリキュラム編成の分析 カリキュラム編成の理解、課題の検討 統合カリキュラム編成の実際（機能段階） 授業設計：シラバスの作成と洗練 科目の決定、目的・目標の設定、授業回数と内容の決定	上國料
事前・事後学習	事前学習：　各回に該当する参考図書や関連文献を精読する。 事後学習：　各回の内容について参考図書等を用いて復習する。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組む。	
評価の方法	参加状況・演習成果（70%）、課題レポート（30%）により総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。	
参考図書 ・資料等	◎　G.トレス他：看護教育カリキュラムーその作成過程ー，医学書院，1988. ◎　杉森みど里・舟島なをみ：看護教育学 第8版，医学書院，2024. ◎　舟島なをみ：看護教育学における授業展開ー質の高い講義・演習・実習の実現に向けてー第２版，医学書院，2020. ・　舟島なをみ監修：院内教育プログラムの立案・実施・評価第 2 版、医学書院、2015. ・　B.S.ブルーム他：教育評価法ハンドブック，第一法規，1973. ・　中井俊樹他編：授業設計と教育評価，医学書院，　2018. ・　佐藤みつ子：看護教育における授業設計，医学書院，　2009. 参考書・資料は適宜に紹介する。◎必須図書	
備　　考	オフィスアワーは、学生ホールの電子掲示板および学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。	